

第1回大川村議会維持対策検討会議議事概要

日時 平成29年6月22日(木) 16:00~17:10

場所 大川村山村開発センター 3階ホール

【議事次第】

- 1 開会
- 2 大川村長あいさつ
- 3 高知県総務部長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 議事
 - (1) 議会維持に向けた課題について
 - (2) 大川村プロジェクトの加速化について
 - (3) その他
 - ・今後の進め方について
 - ・次回会議の日程について
- 6 閉会

○議事概要

【大川村和田村長挨拶】

- ・村民総会設置、議会廃止という見出しが独り歩きしているが、これは法的にも数々の課題がある。これについては国の有識者検討会が設置されるということであり、調査研究を見守りたい。
- ・私が一番重要と考えている議会の維持について、県と一緒に検討ができることは大変心強いし、感謝したい。
- ・国策により大川村がダムに水没し人口減少に陥った中で、これまでも県には大川村発展のためにご支援いただいていた。
- ・大川村が産業振興の中心とした取り組みにより400人の人口を守っていくことで、高知県の中山間地域も守っていけるということを実践していきたい。
- ・役場職員の数も大変少なく県にお手数をかけることとなるが、よろしく願いたい。

【高知県梶総務部長挨拶】

- ・今、村長から400人の人口を守るという決意があったが、県としてもその思いを共有している。
- ・この会議では、村議会の維持と大川村プロジェクトの加速化について、共に考えさせていただきたい。その心は、大川村が県内の中山間地域の活性化のモデルになると考えているからだ。
- ・大川村プロジェクトの推進について、全庁を挙げて取り組ませていただきたい。

【議事(1) 議会維持に向けた課題について】

- ・議会の維持に向けた課題と考えられる点について資料4に基づき説明(村:田淵委員)。
- ・議員の兼職兼業規制等に係る地方自治法の規定について資料5に基づき説明(県:神田委員)。

(意見交換)

- ・県の方で、資料4の4つの項目についてそれぞれ研究したい(県:梶委員)。

- (1) 行政や議会に対する村民の関心についての課題については、広報・広聴について他自治体の取り組み事例の研究
 - (2) 兼業兼職規制については、実際に大川村で兼業兼職規制がどのように当てはまるのかの研究
 - (3) 議員報酬については、全国や類似団体の報酬の研究
 - (4) 議会運営については、夜間や休日開催など他自治体における取り組み事例の研究
- ・実際に村民の意向を把握したうえで議論することが大事と考える。村の方で意向調査を行ってはどうか（県：梶委員）。

⇒県は、資料4の(1)から(4)までの項目について研究し、村は、住民向けアンケートを実施・集計し、可能な限り次回会議で報告することを決定。

【議事(2)大川村プロジェクトの加速化について】

- ・大川村プロジェクトの各部会の現状と成果について資料6に基づき説明（村：明坂委員）。
- ・関連する地域アクションプランの内容や、大川村を取り巻く周辺状況等について資料7に基づき説明（県：豊永委員）。

(意見交換)

- ・人口400人を維持するためには若者の雇用を作ることが必要。7月に食鳥処理施設が完成することが契機となって衛生管理の厳しい大都市の大口の販路が開拓されることを期待している。土佐はちきん地鶏が県外消費者に認知されるようプロモーションに共に取り組みたい。（県：土居内委員）
- ・大川村で集落活動センターが立ち上がり、学校給食や飲食、物販などに取り組みされている。今後交流人口の拡大策を進めていくうえでも、センターの活動をさらに充実させることが村の活性化にとって非常に重要である。今後村とも協議しながら進めていきたい。（県：大崎委員）
- ・大川村には期待できるプロジェクトが数多くある。次回の会議以降は1つ1つテーマを決めて深掘りしてはどうか。今回は、来月食鳥処理場の完成が控えていることから、土佐はちきん地鶏を取り上げて深掘りしてはどうか。（県：梶委員）

⇒次回以降、大川村プロジェクトの加速化については、毎回1つ1つテーマを決めて議論することとし、今回は、土佐はちきん地鶏をテーマとして議論をすることを決定。

【議事(3)その他(今後の進め方、次回会議の日程について)】

- ・今後、1月から2月に1回程度の頻度で、村県持ち回りで開催すること。
- ・年内の取りまとめを念頭に置くが、国への政策提言を効果的に行う観点から、適当な時期で中間報告することも検討すること。
- ・次回会議は県庁及びその周辺で開催することとし、7月18日の週で調整。

⇒以上を決定。